

宮崎大学工学部 同窓会だより



同窓会役員・理事・事務局のメンバー

Contents

会長あいさつ	1p
先輩からのメッセージ	2p
ごあいさつ	3p
各プログラムの定年退職、昇任、新任教員紹介	4-10p
2024年の主な活動	11p
教育・福利厚生・就職への支援活動	11-18p
企業様と個人様からの同窓会への寄付寄贈について	19p
各地区同窓会	20-25p
各地区工学部会からのメッセージ	26-29p
2024年度 宮崎大学工学部同窓会 役員名簿	30p
2024年度 プログラム幹事の紹介	31p
2025年の主な活動	32p

宮崎に就職を希望する皆さん！



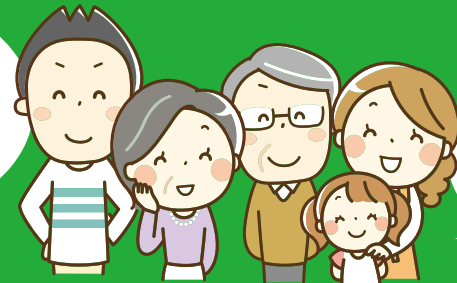
やっぱり地元が
一番やわ！



県内企業でも
県外や海外で
働けるところは
結構あるね

宮崎に転職を希望する皆さん！

一度は県外に
出たけど
宮崎がいいね



家族を持つと
生活環境も考えて
決めなきゃね

工学部同窓会では、各種在校生の支援に加え…

- 1.工学部のOB/OGが活躍する企業の情報を広く提供
- 2.卒業後の各種同窓会の連絡

ホームページ



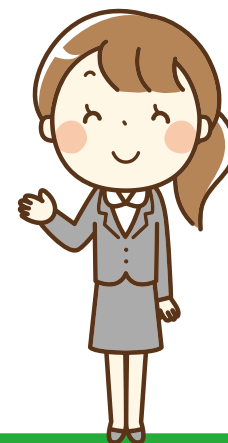
Instagram



Facebook



を積極的に実施しています。



住所 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
TEL・FAX 0985-58-7862
Eメール eng-doso@of.miyazaki-u.ac.jp
担当 うす ざき ちよう さ
白崎・帖佐

発行日 2025年3月14日
発行 宮崎大学工学部同窓会

会長挨拶

宮崎大学工学部同窓会長 井上 康雄
(機械工学科 S45年卒)



2024年の活動に関しては、宮崎大学に於ける各種イベントは勿論、全国各地の同窓会開催が盛大に行われ、参加された卒業生は大変な賑わいの中、大いに語り合っておられました。コロナ禍の数年間ひっそりと過ごした辛い我慢の時間に替わって、やっと日常に戻っての工学部同窓会が如何に楽しい事かを味わうように、参加された方々全員が意気揚々と語り合っている場面に感動してしまいました。

あれから2年、工学部同窓会再構築から10年目に当たる今年こそ更なる発展の為、関係者一同力を合わせて素晴らしい活動に取り組む所存でございますので、卒業生・修了生におかれましては引き続き宮崎大学工学部同窓会の発展のためにご支援を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

今年も重点的に実施している工学部同窓会活動について説明させていただきます。毎月開催される工学部同窓会理事会において、理事の先生方と一緒に協議しながら毎年下記の5つの重点活動を積極的に推進しています。

(1) 教育活動への支援

- 学生の学外研修の交通費等の支援 ● 学生の各種活動への支援

(2) 学生の福利厚生への支援

- 入学式の支援(貸切りバスなど) ● 教員・学生懇談会の支援
- 工学部主催のレクリエーション大会への支援
- 卒業・修了祝賀謝恩会の開催、卒業懇談会への支援

(3) 就職活動への支援

- 学生と企業との交流会開催(みやざき企業説明会を3年ぶりに実施)
- 就職の手引き・企業紹介ガイドブック等の発行・配布

(4) 卒業後の連絡網の充実や同窓会の開催

- 工学部同窓会名簿の管理および工学部同窓会の開催
 - 卒業生支援室(同窓会事務局)での卒業生に対してのワンストップサービス
- ※ 在学生・卒業生から就活の支援要請が増えています。

(5) 宮崎県と連携した「ひなた応援団」による積極的な学生の県内就職の支援制度の活用推進

今後も、在学生の支援を中心に活気ある工学部同窓会活動を推進しますので更なるご協力・ご支援を賜りますように切にお願い申し上げます。

先輩からのメッセージ

国際経済労働研究所・会長 古賀 伸明(元連合会長)
(電気工学科 S50年卒)



私は1975年に当時の工学部電気工学科を卒業し、松下電器産業株式会社(現パナソニック)に入社した。数年後にちょっとしたキッカケで労働組合の活動に入った。当時は、もちろん人生の多くの時間を労働運動と関わっていくことなど、全く思いもしなかった。しかし以降、何かの縁としか表現できないが、企業別組合で23年、産業別組合で3年、そしてナショナルセンター・連合で10年と、36年に渡って運動・活動に携わってきた。連合総研も加えれば43年だ。

1996年から2015年まで約20年間は、企業別組合、産業別組合、連合の第一線でリーダーを務めた。厳しい環境の中、その時々でリーダーとしての判断や決断はあったが、運動は一人ではできない。多くの仲間が力と知恵を合わせることによって遂行できたことを、今振り返ってもつくづく感じる。

その運動・活動の積み重ねが評価され、令和6年秋の叙勲において、旭日大綬章を受章した。「継続は力なり」という言葉を思い出す。工学部同窓会の井上会長も自分のことのように喜んでくださり、是非、卒業生に向けて「工学部同窓会だより」に寄稿してもらいたいとの依頼を受けた。

今、私たちは既存の価値観や過去の成功体験が全く通用しない転換期の時代を、好むと好まざるとに関わらず生きている。「1を10」あるいは「10を100」にするのではなく、「ゼロから1をつくる」時代と言われている。

このような時代には、全ては明らかではないけれども、大きな方向を見定めて、多少不確実な部分があっても、思い切って一歩踏み出してみることだ。これまでと異なる新たなことにTryし続けるしかない。失敗してもそこから学ぶことだ。Try&Errorを繰り返し、学びを蓄積して知恵と重ね合わせながら、新しい方向を見出して欲しい。これからの時代を創りだしていくのは、君たちだ。



自らの物語を描き、それを語り一つひとつ実現して欲しい。時代の変化は激しいが、転換期は次のステージへの重要なステップであることを、しっかりと心に刻み、絶え間ざる自己革新とスピーディーな行動で、さまざまな課題に挑戦することを、心より期待したい。

ごあいさつ

これからの宮崎大学工学部は “入学後の伸びしろ”で 国立大学トップを目指す!



宮崎大学工学部長 鈴木 祥広

国立大学には工学系学部が設置されています。どの都道府県にもあります。当然、宮崎県にある宮崎大学にも我々の工学部があります。なぜでしょうか?!

電気、ガス、水道・下水道、電話、通信等のライフライン、道路や橋、港、街などの都市のインフラ、様々な食料の安全管理、生活必需品、電化製品、医薬品・医療機器など、我々の生活に必要な施設、製品、システムは、全て工学が担っています。したがって、工学の学問・技術無くして、人々は生きて行けません。工学は50年、100年先も発展し続けます。従って、社会の全ての産業界において、工学系人材の需要は極めて高く、工学部の学生は将来の日本に必須の人財です。しかし、受験業界の調査結果では、工学部は全国的に高校生からの人気がありません…。事実、ここ数年の受験倍率では、我が工学部も苦戦中です。私は、工学の意義や魅力、ミッションを知らないことが原因と考えています。そこで、オープンキャンパスや体験入学、高校訪問等において、高校生や高校教師、機会があれば保護者に対して、宮崎大学工学部は“入学後の伸びしろ”では、国立大学のなかでも際だっていること、さらに国立大学トップを目指していることを積極的にアピールしています。“入学後の伸びしろ”の根拠は、希望する企業への就職実績は極めて良好であり(大都市圏の有名大学と遜色ありません)、学会・シンポジウム等での学生・院生の受賞・表彰件数では、地方大学の中で突出していることです。伸びしろの広い要因は、80年に及ぶ工学部の大勢の卒業生・修了生や教職員の努力と実績の積み重ねと社会に出てからの活躍、ならびに恵まれた教育・研究環境にあると考えています。特に、工学部同窓会を中心とするネットワークが全国に構築され、支援して頂いていることが我々の工学部の強みです。

少しずつではありますが、宮崎県・九州で宮崎大学工学部の注目度も上向きに転じつつあります。令和7年度は、この良い流れを更に加速していきます。また、令和7年度には「宮崎県就職希望枠」と「女子枠」の学校型推薦選抜の合格者も入学してきます。宮崎県内への就職を強く希望する学生や多様な視点を持つ女子学生が新たに加わります。入学したら卒業・修了までに、宮崎大学工学部が学生の個々の“伸びしろ”を限界突破まで育てていきます。

宮崎大学工学部は、工学部同窓会のご支援を受けつつ、さらに飛躍します。工学部同窓会の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

各プログラムの定年退職、昇任、新任教員紹介

〈定年退職〉

機械知能工学プログラム

教授 申 炳録

工学部同窓会の皆様、機械知能工学プログラム担当の申炳録と申します。2015年4月に着任してからこの3月で丸10年となります。宮崎での生活、南日本での生活は初めてでしたのでいろいろと興味深いことが多くありました。着いて数ヶ月間はしょっちゅう降る雨が印象的でした。そのお陰でしょうか、緑豊かで、山に海に輝く太陽にと自然豊かで住みやすい環境をあまねく備えた、この宮崎で暮らし定年を迎えること、大変幸運だと思っています。教育者として研究者として、振り返るといろんなことが思い浮かびますが、一言で、楽しい生活を送りました。

さて、工学部同窓会には、大変お世話になりました。工学部改組前、機械設計システム工学科の就職担当の際は、同窓会で企画したばかりの「みやざき就勝ガイド」をご丁寧に紹介していただきました。就活生に就職活動を献身的に支援していただく同窓会の熱意に感服して、就勝ガイドを通読し就活サポートに臨んだことは記憶に新しいです。同窓会のご尽力で地元企業への就職をお勧めできるようになったのは、学科の性格上、県外企業への就職がほとんどであることを勘案すると、大きな変化であり地域貢献の拡大となりました。他にも、教育活動への支援など、いろんな事業を通して在学生のための支援をいただきました。心より感謝申し上げます。末筆ながら、工学部同窓会の益々のご発展を祈念いたします。皆様におかれましても、お元気で楽しくお過ごしください。

〈定年退職〉

応用物理工学プログラム

教授 前田 幸治

このたび、私は36年間勤めさせていただいた工学部を定年退職することとなりました。平成元年の3%の消費税導入の月に宮崎大学工学部に助手として赴任し、長い間多くの学生たちとの出会いや、同僚・先輩方との交流を通じて、数えきれないほどの学びと喜びを得ることができました。その中で、同窓会の活動にも参加させていただき、同じ志を持つ仲間たちと多くの時間を共有できたことを心より感謝しております。同窓会を通じて教え子たちの成長した姿を見るのは、楽しみの一つでした。

退職を迎えるにあたり、今後は大学との関わりは少なくなりますが、同窓会における皆様との絆は、今後も大切にしていきたいと思っております。長い間のご支援とご指導に深く感謝申し上げますとともに、これからも皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

2024年度 研究室秋キャンプ



〈定年退職〉

情報通信工学プログラム
教授 横田 光広



早いもので2025年3月に宮崎大学を退職することになりました。1993年10月に宮崎大学に着任し、31年6ヶ月の月日が流れました。着任後のことを色々と思い出し、「光陰矢の如し」をヒシヒシと感じ入っています。

着任早々の1996年4月から1年間、電気通信普及財団の支援を受け、米国のカリフォルニア大学サンタバーバラ校(UCSB)での在外研究の機会を頂きました。当時の講座責任者だった石塚興彦教授を初め学科の先生方には講義や運営の面で多大なご迷惑をおかけしました。UCSBではPochi Yeh教授の元で非線形光学の研究を行いました。台湾出身のPochi教授は親しみやすく、初対面にも関わらず丁寧にご指導していただきました。サンタバーバラは治安が安定しており、歴史も古く風光明媚な街です。カリフォルニア州には21の教会(ミッション)があるそうですが、サンタバーバラミッションは其中で一番美しいミッションと言われています。機会があれば、ぜひ、訪れてください。

この経験が活かされ、私が入試担当副学長や学部長のときにミャンマーとの交流に関わりました。Thi Thi Zin教授やPyke Tin客員教授(当時、現在は特別教授)が本学に在籍していたことが幸いとなり、2014年から毎年、Double Degree Program(DDP)の打ち合わせ・実施や学生交流などを進めることができました。お腹を壊しながらも楽しいひと時を過ごしたことが、今となればいい思い出です。これまで、34名がミャンマーの大学から本学に、3名が本学からヤタナボン工科大学にDDP学生として滞在し、両大学から2つの修士号が授与されています。DDPで工学研究科修士課程を修了した学生の多くは、帰国後に改めて農学工学総合研究科博士課程に進学し博士号も取得しています。加えて、DDP修了生の中には日本国内で大学教員として採用され、学術研究の発展に大きく寄与しています。このような良い繋がりができて、とても嬉しく思っています。これらはThi Thi Zin教授とPyke Tin教授の献身的な貢献に支えられた結果であり、改めて感謝申し上げます。

近年の大学を取り巻く状況はとても早いスピードで動いています。18歳人口は2035年には100万人を切り、2040年には約82万人にまで減少するという推計が出ています。大学改革は益々厳しいものになると思います。困難な時代に突入していますが、工学部一丸となって乗り越えることができると信じています。

〈昇任〉

電気電子工学プログラム
教授 武居 周



電気電子工学プログラム担当の武居周(たけいあまね)と申します。2014年8月より前職の苫小牧工業高等専門学校から異動・着任しまして、丸10年が経過しました。これまでに、多くの学生の教育研究を担い、学部と大学院の改組を経て今日に至りました。その間コロナ禍に見舞われたことで、大学の活動自体がなかばストップし、また、それ以外の困難もあり、道のりは平坦ではありませんでした。しかし、このような困難にあっても、工学部同窓会の皆様、学生諸氏、心ある教職員の皆様のお力添えにより、今日のふたたび活気を帯びた工学部の中で教育研究活動ができる喜びを噛みしめております。そして2024年4月より教授の職を拝命しました。今後も学生の成長、本学の一層の躍進を日々目指すとともに、本学に集う学生・教職員の皆様が心地よく過ごすことができる共同体となるよう、全力を尽くす所存です。私の専門は電磁界をはじめとする波動シミュレーションの基礎研究とその工学(産業)応用です。世界最先端の技術を宮崎地域と世界に展開する研究を、本学の皆様とともに進めてまいります。

〈新任教員紹介〉

電気電子工学プログラム
助教 平田 拓也



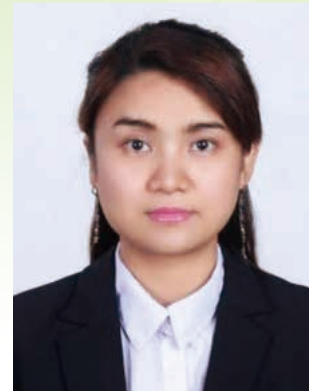
みなさま、はじめまして。2024年9月より、電気電子工学プログラムの助教に着任いたしました、平田拓也と申します。2017年に宮崎大学から博士の学位を授与いただいた後、山口県にある大島商船高等専門学校の電子機械工学科で教員を7年半ほど勤め、現在、本学にお世話になっております。研究といたしましては、電気をケーブルなしで送る無線電力伝送システムについて、より便利に、このシステムが利用できるように取り組んでいるところです。

本学に戻り、講義や研究等を通して、かつて、諸先輩方の皆様からご指導・お力添え等をいただいたおかげで、今の私があることを、改めて意識しているところです。私なりに工学部に貢献し、そのご恩を少しずつでも返せたらと考えています。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

〈新任教員紹介〉

情報通信工学プログラム

助教 Cho Nilar Phyو



2024年4月に情報通信工学プログラムに助教として着任したチョニラピョと申します。ミャンマー出身です。2016年10月から宮崎大学工学部の農学工学総合研究科物質・情報工学専攻に入学し、工学部のティティズイン教授のもとで研究を行いました。その後、博士課程2年生の2018年4月からロータリー米山奨学金を受けて、2019年9月に博士課程を修了いたしました。

私の研究分野は、画像処理とコンピュータビジョンに関連する領域です。特に**歩容認識に基づく人物再識別システム、高齢者の転倒行動予測システム**などの研究を行なっています。現代社会では、高度なセキュリティ技術が日常生活を送る上で不可欠であり、スマートビデオ監視システムは安全安心な社会の実現に貢献します。また、高齢者は転倒による怪我や入院のリスクが高いため、転倒を予測し防ぐシステムの開発は重要な課題です。高齢者の転倒行動予測システムは、独居高齢者の安全と福祉を確保するための有効な手段となり得ます。

教育経験としては、ミャンマーのInstitute of Management and Computer Studies (IMCS) で2年間講師を務めました。IMCSでは、Java、C、C#、PHP、Pythonなどのプログラミング言語を幅広く指導しました。また、ソフトウェア部門での責任者として学生の指導・管理対応と学生たちのチームプロジェクトの評価やソフトウェア開発コースの試験用のプログラミング問題の作成にも携わりました。将来の教育における目標は、学生が積極的に学び、新しいアイデアを探究できる学習環境を作ることです。そのため、対話型やプロジェクトベースの教授法を活用し、学生がコーディングの楽しさを実感し、プログラミングに興味を持って取り組めるような指導を行いたいと考えています。また、学生が将来のキャリアを自信をもって切り開けるよう、積極的に支援していきたいと考えています。さらに、日本のソフトウェア企業での開発経験を活かし、学生にプログラミングの知識が実際のソフトウェア開発環境でどのように活用するかを教えていきたいと思っています。このような経験を通じて、学生が現実の課題に対応できる力を身につけ、将来の成功へとつながるスキルを育成できるよう努めていきたいと思っています。

今後ともよろしくお願いいたします。

〈新任教員紹介〉

土木環境工学プログラム

特別助教 堀澤 英太郎



2024年4月より、土木環境工学プログラムの特別助教として着任しました堀澤英太郎と申します。私は新潟で生まれ育ち、大学院時代は京都で過ごしました。宮崎を訪れたのは、4年前に九州一周の旅で高千穂峽や青島を訪れた一度きりでした。そのため、宮崎でのご縁をいただいた際には驚きつつも、新しい環境での挑戦が自身の成長につながると考え、宮崎に移り住むことを決めました。私の専門は橋梁を中心とした鋼構造で、老朽化が進む構造物の長寿命化を新材料や新技術で実現する方法を研究しています。宮崎には「かりこぼうず大橋」や「高千穂橋梁」など、魅力的な橋梁が多く、研究者として大いに刺激を受けています。また、着任後の半年間で地震や大雨などの自然災害を経験し、土木工学が地域社会を支える役割の重要性を改めて実感しています。

宮崎大学での研究を通じて、地域や社会に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

〈新任教員紹介〉

電気電子工学プログラム

特別助教 MAY THIN KHAING



2024年10月から電気電子工学プログラムの特別助教になったメイティンカインと申します。2022年4月に宮崎大学農学工学総合研究科博士課程に入学して、2024年9月に博士号を取得しました。現在は、シリコン（SiR）機器の新しい劣化診断手法及び長期信頼性評価技術の開発を東芝エネルギーシステムズ㈱と関西電力送配電㈱と共同して行っています。

日本においてもSiRの利用が進んでいますが、日本、そして北米・ヨーロッパでもSiR機器の長期信頼性の評価及びその診断技術は確立できていません。そのため、SiRをオンサイトで短時間に劣化の程度を把握できる新規の技術を開発しています。日本や海外で使用される、求められる装置の開発を目指します。

〈新任教員紹介〉

情報通信工学プログラム

特別助教 臼崎 翔太郎（情報システム工学科 H29年卒）



2024年1月に工学部情報通信工学プログラムの特別助教として着任しました、臼崎翔太郎と申します。研究分野は情報セキュリティです。宮崎大学農学工学総合研究科博士課程の在学中に、宮崎大学工学部教育研究支援技術センターで技術職員として勤めたのち、現職に着任しました。技術職員時代は、サーバ管理支援やデータ分析支援、演習講義の支援などのやりがいのある仕事を経験させていただきました。私は元々情報技術に疎く、研究室に入って面白さを知りのめりこんでいった人間です。元々好きな人が楽しんで学べる環境づくりと合わせて、好きになる素養がある人に少しでも多く情報技術の面白さを伝えていきたいと考えています。

情報技術を学ぶ際、刺激的な情報は都市部に集中し、地方との情報格差を常々感じていました。私の教員としての夢は、地方にしながら気楽に先端技術を学べる場を用意することで、この夢のため、未熟な教育・研究能力の不断の研鑽に励みたいと考えています。

〈新任教員紹介〉

機械知能工学プログラム

特別助教 KHIN DAGON WIN



2024年4月に機械知能プログラムの特別助教として着任しました、キン・ダゴン・ウィンと申します。ミャンマー出身です。私はミャンマーのマングレーコンピューター大学でコンピュータサイエンスを専攻し、学士号と修士号を取得しました。修士課程中には、DDPプログラムを通じて、2016年10月から2017年9月までの1年間、宮崎大学で修士研究を行いました。その後、2018年10月に宮崎大学大学院農学工学総合研究科に進学し、2021年9月に博士号を取得しました。博士課程中には、スカ豚の研究に参加しました。これにより、異なる視点からの研究アプローチの重要性を学び、国際的な研究チームとの協力を通じて実践的なスキルを磨くことができました。博士課程修了後は、日本の東芝情報システム株式会社で2年間勤務し、人工知能とクラウドコンピューティングを活用した新製品の技術調査や関連ソフトウェア開発に従事しました。この経験を通じて、産業界でのプロジェクト管理や技術応用の実務的な知識を深めることができました。その後、2024年4月に宮崎大学の特別助教として研究および教育活動を開始しました。

学生に「研究の型」を伝え、彼らが世界で活躍できるようサポートし続けています。学生が次のステップに進むための挑戦と機会を提供することを大切にしています。さらに、宮崎大学のスローガンに共感し、地域社会とグローバルな視点を両立させた活動を目指し、そのために指導と支援を行いたいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

2024年の主な活動

- 3月 卒業・修了祝賀会(シーガイアコンベンションホール)
- 4月 工学部保護者懇談会(宮崎大学330記念交流会館)
関西工学部会新入社員歓迎会(大阪城公園)
- 5月 第6回宮崎大学工学部同窓会(ホテルメリージュ)
- 6月 関東工学部会(東京-TKPガーデンシティ渋谷)
- 10月 関西工学部会(京都-ガーデンシティ京都)
中部工学部会(愛知-D-Square)
- 11月 北部九州工学部会(福岡-八百治博多ホテル)
「2025年版みやざき就勝ガイド」発行・配布
- 12月 みやざき企業説明会(330記念交流会館)

教育・福利厚生・就職への支援活動

「工学部卒業・修了懇談会」

3月24日(金)フェニックスシーガイア・コンベンションセンターサミットホールにて宮崎大学卒業証書・学位記・修了証書授与式に続いて、工学部卒業・修了懇談会が行われました。



環境応用化学科



社会環境システム工学科



環境ロボティクス学科



環境ロボティクス学科



機械設計システム工学科



電気システム工学科



電子物理工学科



情報システム工学科

「卒業・修了祝賀会」

宮崎大学卒業証書・学位記・修了証書授与式、工学部卒業・修了懇談会のあと、フェニックスシーガイアコンベンションホール4Fにて、2023年度宮崎大学工学部卒業・修了祝賀会が4年ぶりに開催されました。卒業生・修了生をはじめ、学長、工学部長、教職員、同窓会長、同窓会役員等の皆さまにご参加いただき盛大に開催することができました。



「プログラム内ソフトボール大会」

宮崎大学木花キャンパスグラウンドにて親睦を兼ねて5月11日(土)に第12回 工学部プログラム対抗1年生ソフトボール大会、11月15日(金)に応用物理工学プログラム(4年生～修士)ソフトボール大会が開催されました。

《工学部プログラム対抗1年生ソフトボール大会》



《応用物理工学プログラム(4年生～修士)ソフトボール大会》



「宮崎大学工学部基礎科学(数学)における学生表彰」

2月4日(火)に工学部の3年生を対象に数学成績優秀者の表彰式を行いました。

表彰式では、鈴木工学部長から表彰状と記念品が手渡され激励の言葉が贈られました。記念品(図書カード)は工学部同窓会が支援を行いました。



「厚生補導経費等支援(学外技術研修の交通費・備品費等)」

各プログラムでの様々な活動費(厚生補導経費等)として、学外研修のためにかかる交通費や学修に必要な様々な備品や施設利用料等に対して学生個人の負担を軽減することを目的として工学部同窓会として支援しています。



「2025年版みやざき就勝ガイドとポータルサイト発行・配布」

2025年版のみやざき就勝ガイドを11月にプログラムごとに配布を行いました。今回のガイドは、従来に比べ、各企業のアピールポイントをより多く反映し、それ以外の情報もポータルサイトを活用することで多くの学生に公知できるよう工夫しました。



「みやざき企業説明会」

12月20日(金)宮崎大学330記念交流会館にて、宮崎県内企業OB・OG交流会の名称を改め「みやざき企業説明会」として開催いたしました。

今年は昨年の51社から59社まで拡大し、午前と午後に分けて学生・企業双方に負担なくまた多くの企業と触れ合える場を作ることができました。

約300名の学生が参加し各企業の話に熱心に耳を傾けていました。



企業様と個人様からの同窓会への寄付寄贈について

今年も以下の企業様から工学部同窓会あてに同窓会活動活性化を目的としてご寄付を頂きましたので、感謝状を贈呈させていただきました。

《丸栄宮崎株式会社様・MARUEI株式会社様》



《ブンリ工業株式会社様》



《株式会社テクノクリエイト様》



《中部工学部会 前会長 安川 雅夫様》

安川様より工学部同窓会にご寄付を頂きました。ありがとうございました。

宮崎地区の行事

5月18日(土)第6回宮崎大学工学部同窓会 (於:ニューウェルシティ宮崎)

記念講演会として、講師に工学教育研究部教授・工学部工学科応用物理工学プログラム担当の福山敦彦様をお迎えし、演題として「今を支える半導体、未来を拓く半導体」を行っていただきました。



続いて工学部の近況説明として工学教育研究部教授・工学部工学科電気電子工学プログラム担当の田村 宏樹 様をお迎えし「SPARC プログラム推進に伴うひなた応援団の結成と展開のご説明」を行っていただきました。



その後、個別での写真撮影を行い、18:00～懇親会を実施しました。工学部同窓会 井上会長のごあいさつの後に、工学部:80周年記念演目として大蔵流狂言の中の謡仕舞の演目:演者～井上康雄 益、三人夫、祝言;お祝いの謡狂言「痺り」以上、4つの素晴らしい演目をご披露頂きました。



宮崎大学副学長 淡野様の乾杯のご発声後、歓談を挟み、関東工学部会 代表幹事 田原様 中部工学部会 会長 安川様 関西工学部会 会長 敦田様 北部九州工学部会 会長 山北様からお言葉を頂き、最後に令和3年以降に卒業された卒業生と来年卒業予定の学年代表幹事にも挨拶をしていただきました。



関東地区の行事

6月15日(土)関東工学部会 (於:TKPガーデンシティ渋谷)

6月15日に関東工学部会が東京の渋谷のTKPガーデンシティ渋谷で開催されました。今年は100名の参加者となり、13:00～の学科ごとの総会の後全体写真撮影後14:00～懇親会が催されました。

関東工学部会 代表幹事の田原様のごあいさつの後 宮崎大学工学部学部長の鈴木様に宮崎大学工学部の近況として来年度からのプログラム名の変更並びに情報分野の高度専門技術者育成を目的とした先端情報コースの新設にご紹介いただきました。

化学会会長の日高様に乾杯の音頭の後 工学部同窓会 井上会長に来賓あいさつ並びに工学部同窓会から活動支援金として目録を贈呈いたしました。外部来賓者として、宮崎県東京事務所課長の徳留様と宮崎市東京事務所主任主事の木村様からお祝いの言葉を頂きました。

最後に来年代表幹事となる機友会東京支部長の佐藤様から締めめの挨拶を頂き中締めとなりました。



最後は工学部同窓会理事長の嶋本様の一丁締めでお開きとなりました。今年は講演会98名 懇親会94名と多くの方々に参加いただきました。



関西地区の行事

10月19日(土)関西工学部会(於:ガーデンシティ京都)

10月19日に京都の京都タワー9Fにおいて、関西工学部会が開催されました。参加は58名となり、各学科での報告を行った後に14:30～懇親会をスタートしました。関西工学部会会長の敦田様のごあいさつの後に工学部同窓会 井上会長から挨拶をさせて頂き、その後情報通信工学プログラム担当教授の椋木様から工学部の近況のご説明を頂きました。土木会会長の出口様の乾杯の後に歓談に移行し、同窓生皆さんが思い思いに昔話に華を咲かせていました。16:15に懇親会を閉会し、一部の皆さんは2次会として京都の夜の街へ繰り出し楽しまれたことと思います。



中部地区の行事

10月20日(日)中部工学部会(於:D-スクエア)

10月20日に愛知県刈谷市のD-スクエアにおいて中部工学部会が開催されました。参加者は50名でした。最初に土木会名古屋支部長の松岡様からラバウルへお仕事の関係で行かれた時のお話を戦時中での出来事やその後の火山の噴火で街並みが一変している状況など、なかなか知ることのできないお話を興味深くお聞かせいただきました。その後に情報通信工学プログラム担当教授の椋木様から工学部の近況をお話頂き、全体の写真撮影の後に機友会の高濱様の司会の元、中部工学部会 会長の安川様からのごあいさつに続き、工学部同窓会 井上会長の挨拶の後、工学部同窓会 齋藤副会長の乾杯で会食をスタートしました。次回は電電会が幹事学科となっていますので、是非今回以上に楽しい会合になることをお祈りいたしております。



北部九州地区の行事

11月23日(土)北部九州工学部会(於:八百治博多ホテル)

北部九州工学部会が福岡県博多市の八百治博多ホテルで11月23日(土)に開催されました。参加者は全体で53名となり、若干昨年に対しては少ないものの大盛況でした。北部九州工学部会 会長 山北様の開会あいさつを皮切りに、工学部学部長の鈴木様から「工学部の近況」のご説明がありました。工学部同窓会 井上会長挨拶の中で、北部九州工学部会の活動支援として支援金の目録贈呈も行われました。機友会の最所様の乾杯のご発声の後、懇親会を開催いたしました。次回は電電会の山下様が会長となられる予定となりました。是非今回以上に楽しい会合になることをお祈りいたしております。



各地区工学部会からのメッセージ

関東工学部会 代表幹事(機友会 東日本支部 支部長)

佐藤 秀雄

(機械工学科 S60年卒)



宮崎大学工学部同窓会の皆様、こんにちは。機友会東日本支部支部長の佐藤です。COVID-19(コロナ)で中断していた関東工学部同窓会も2回実施することができ、日常を取り戻してきた感があります。本年度の主幹事を取りまとめた頂いた化学会の田原さん、お疲れ様でした。次年度は、機友会が主幹事で、関東工学部同窓会を開催予定です。

関東工学部同窓会は、国立競技場近くの日本青年会館で始まりました。その後、日本青年会館の建替えに伴い、渋谷のシダックスに開催場所を移しました。シダックスからTKPガーデンシティ渋谷に変更になり、暫く渋谷での開催を継続していましたが、次年度は新宿にある「バトゥール東京」で開催予定です。会場構成や設備も異なるため、初年度は色々と課題が出てくると思いますが、幹事の皆さんと協力して、盛大に同窓会を開催できればと思います。例年100名から120名の皆様に参加頂いています。関東地区にいらっしゃる同窓会の皆様、これから関東近辺に就職される卒業生/修了生の皆様、是非関東工学部同窓会に出席頂き、楽しいひと時を共有できたらと思います。同窓会のあとは、例年2次会も開催しており、60名以上の参加者で盛り上がります。渋谷では塚田農場宮益坂店で炭火焼鳥を食べて、宮崎の味を懐かしんでいました。まだ、新宿での2次会開催場所は決めていませんが、昨年同様に企画したいと思いますので、2次会含めて参加頂ければ幸いです。では、「バトゥール東京」で、皆様とお会いできることを楽しみにしています。

末筆になりますが、本年度の関東工学部同窓会が終了した後に、悲しい知らせがありました。COVID-19(コロナ)で中断していた期間に関東工学部同窓会の主幹事として尽力されていた元Σ会支部長の續山さんが6月17日62歳で永眠されました。この場をお借りし、謹んで哀悼の意を表します。

中部工学部会 会長

小森 孝一

(電気工学科 S49年卒)



工学部同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

昨年は元日から、災害・事故と悲慘な出来事が続きましたが、今年は無事平穏に過ごすことができ、安堵しております。

今年度より現中部工学部会長の安川先輩の後を引き受ける事になりました。

私はS49年電気卒の小森孝一と申します。

安川会長の任期中は大変な時期と重なり、ご苦労されたと思料します。本当にご苦労様でした。当方の紹介を述べますと、S49年4月大学卒業後、当時名古屋中村区にあった三菱重工名古屋機器製作所に入社以来、46年間勤務しておりました。そのほとんどは食品包装機械のプラントエンジニアリングを担当しておりました。(もうこの会社はなくなり今は流通会社です…)

宮崎大学工学部の当時は、市内の船塚町にあり学部は、電気、土木、化学、応物、機械に分かれていて、現在のように細かくは分かれていませんでした。その中で電気だけはコンクリート建物だった事を思い出します。私はラグビー部に所属していましたので工学部だけではなく農学部や教育学部の先輩後輩と繋がっていました。特に土木の先輩が多かったです。

今年度から中部電電会は、現支部長の矢長先輩から前田新支部長に若返る予定になっています。矢長先輩ご苦労様でした。新支部長はじめスタッフは新しい会員の発掘に頑張ってください。

秋の中部工学部部会は、今年は名古屋での開催を予定しております。最終的な日程や開催場所については、関西工学部会及び大学と連携して決定していきたいと思います。

工学部全般として、出席者の確保はもとより、新規会員の発掘を目指します。

各学部の横のつながりを更に濃くして行きましょう。

関西工学部会 会長

敦田 悟

(電気電子工学科 H16年卒)



工学部同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。2024年は本当に大きな出来事があった年だったと振り返り感じています。バッドニュースで言えば年始早々に石川・能登で震度7の津波を伴った地震が発生、次いで宮崎でも8月8日に日向灘でM7.1最大震度6弱の地震があり、日本の防災意識が高まった年でした。怪我や住宅の損壊など、被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、グッドニュースで言えばプロ野球の大谷選手がメジャー史上初の「50本塁打、50盗塁」を達成し、2年連続の本塁打王、日本人初となる打点王のナショナル・リーグ2冠に輝き、リーグ最優秀選手(MVP)にも選ばれる瞬間をテレビ越しではありますが、日本人としての偉業を目の当たりにした年でした。

私たち、関西工学部においても今年10月の関西工学部会として初となる「京都」での開催となり、新しい場所で仲間達と親睦会を盛大に開催する事が出来ました。また、参加者も昨年比で増加し、特に若い方やご家族連れの方々もご参加いただけるアットホームな形が出来つつあります。今年度も引き続き年2回の親睦会を計画しています。①4月19日(土)12時から新入会員歓迎会を、②10月第3日曜日に工学部総会を予定しています。開催が決まりましたら情報を展開しますので、奮ってご参加ください。

さて、2024年から関西工学部会の会長を引き継ぎ、25年度も引き続き盛り上げていく事になりましたので知らない方の為に簡単に自己紹介をさせていただきます。私は、2004年に宮崎大学の電気電子工学部修士課程を修め、京都の半導体関連会社に勤めています。趣味はアニメ鑑賞とカラオケで歌を歌うことで、よく会社の同僚と行ったりしています。最近の曲も歌ったりしますので、親睦会にご参加いただいた方の中で歌好きの方がいましたら、お気軽にお声かけください。

最後になりますが、工学部同窓会の最大の魅力は様々な分野でご活躍されている諸先輩方との繋がりができ且つ、成功体験や失敗談等を聞くことで、自身の仕事に役立てることが出来ることです。特に若い方々にお力になれるようにこれからも活動を盛り上げて参りますので積極的にご参加いただければ幸いです。

同窓会の皆様のご健勝とご活躍を祈念しております。



北部九州工学部会 会長

山下 春幸

(電気工学科 S58年卒)



宮崎大学工学部同窓会の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日頃より、同窓会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2023年度、北部九州工学部会では、コロナ禍を乗り越え、4年ぶりに同窓会を開催することができました。久しぶりに直接顔を合わせることができた同窓生の皆さまの笑顔がとても印象的でした。それは、これまで築き上げてきた絆がコロナ禍を経てもなお強固であることを実感させてくれるものでした。そして2024年度も、多くの方々にご参加いただき、盛大な会を実現することができました。世代や職種を超えた交流が深まり、同窓会の意義を改めて確認できた素晴らしい同窓会となりました。このような活動が続けられるのも、ひとえに同窓生の皆さまの温かいご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

2025年度を迎えるにあたり、改めて工学部出身者が社会で果たす役割の大きさを感じています。宮崎大学工学部は、「地域から世界へ」という理念のもと、技術革新や地域社会への貢献を担う人材の育成に力を注いでいます。この教育方針により、多くの優秀な卒業生が地域社会や国際舞台で活躍しています。同窓会としても、この理念を共有し、現役学生の支援や卒業生間のつながりの強化を通じて、工学部の発展に貢献していきたいと考えています。

本年度も、北部九州工学部会は、11月に恒例の懇親会を開催する予定です。この懇親会は、さまざまな分野で活躍する同窓生が集まり、仕事や生活について意見を交換し合う貴重な場となっています。特に若い世代の皆さまには、積極的にご参加いただきたいと思っています。先輩方からのアドバイスやネットワークの構築を通じて、キャリア形成や新たな気づきを得られる機会になることを願っています。また、幅広い世代が参加しやすい雰囲気づくりを進め、誰もが楽しめる会を目指してまいります。

最後に、北部九州工学部会が今後も同窓生にとって有意義な場であり続けるよう、一層の努力を重ねてまいります。同窓生の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



2024年度 宮崎大学工学部同窓会 役員名簿

役 職	氏 名	卒業年	卒業学科	所 属
会 長	井上 康雄	S45	機械工学科	機友会会長
副 会 長	日高 宗徳	S59	工業化学科	化学会会長
副 会 長	田村 俊彦	S53	応用物理学科	Σ会会長
副 会 長	出口 近士	S51	土木工学科	土木会会長
副 会 長	児玉 鉄雄	S59	電気工学科	電電会会長
副 会 長	齋藤 幸雄	S45	応用物理学科	Σ会
理 事 長	嶋本 寛			土木環境工学プログラム
副理事長	稲田 飛鳥	H24	物質環境化学科	応用物質化学プログラム
理 事	友松 重樹	H7	機械工学科	機械知能工学プログラム
理 事	荒井 昌和			応用物理工学プログラム
理 事	永岡 章	H21	電気電子工学科	電気電子工学プログラム
理 事	高橋 伸弥	H6	情報工学科	情報通信工学プログラム
監 事	野崎 清春	S41	機械工学科	機友会
監 事	臼崎 翔太郎	H29	情報システム工学科	情報通信工学プログラム
事務局長	臼崎 雄一	S60	機械工学科	機友会
事務局員	帖佐 悦子			

2024年度 プログラム幹事の紹介

同窓会では、毎年各プログラムの学部卒業生の中から各プログラムの幹事を依頼して、
①卒業後の連絡網の充実 ②同窓会への参加 ③同期の方への参加連絡等の情報伝達を
お願いしております。

プログラム	名 前
応用物質化学プログラム	村川 史 織
	宮 田 蒼
土木環境工学プログラム	川 邊 晴 香
	松 菌 利 耀 馬
応用物理工学プログラム	高 城 峻
	竹 尾 虎 之 助
電気電子工学プログラム	八 木 昂 大
	穴 繁 優 大
機械知能工学プログラム	近 藤 麟 太 朗
	佐 藤 裕 斗
情報通信工学プログラム	有 川 心 喜
	永 久 井 太 一

2025年の主な活動

- 3月 卒業・修了祝賀謝恩会（シーガイアコンベンションホール）
- 4月 工学部保護者懇談会（宮崎大学330記念交流会館）
関西工学部会新入社員歓迎会
- 6月 関東工学部会
- 7月 第7回宮崎大学工学部同窓会
- 10月 関西工学部会
中部工学部会
- 11月 北部九州工学部会
- 12月 「2026年版みやざき就勝ガイド」発行・配布
みやざき企業説明会（330記念交流会館）

※上記はあくまでも予定であり、不測の事態により中止になる場合もありますので工学部同窓会及び
各地区同窓会の情報をご確認ください。